

## 芸能：三陸の伝統

三陸地方の伝統芸能は、地域コミュニティの社会的基盤に深く根ざしています。その多くは海との自然なつながりを反映しており、豊作や沖での漁の安全を祈願して演じられます。また、海に出て帰ってこなかった人々の霊を鎮めるために舞われるものもあります。

### 大槌町

#### 大神楽

大神楽は神楽（日本最古の伝統芸能の一つである儀式的な舞）の一形態です。大槌町では6つの団体が獅子舞をはじめとするさまざまな演目を披露しています。

#### 鹿子踊

地元の5団体は、北日本で広く見られる民俗芸能である、雄鹿と雌鹿などの踊り手が笛や太鼓の音に合わせて踊る「鹿子踊」に参加しています。

### 釜石市

#### 虎舞

この「虎の舞い」の起源は数百年前に遡ります。火除けの力を持つとされる舞う虎の装束を2人で操ります。

### 大船渡市

#### スネカ

1月15日の夜、黒い仮面と藁頭巾を身につけスネカという鬼に扮した人々が、怠け者やいたずらっ子をおどかすために地元の家々を訪れます。

#### 大権現

力強い舞の中で、この幅2mの巨大な獅子頭は、獅子装束を被せたパワーショベルに取り付けられ、力強く回転します。特別なイベントの際に登場します。

### 陸前高田市

#### けんか七夕まつり

この運命に引き裂かれた神々の物語をもとにした華やかな夏祭りのローカル版は約900年の歴史を持ちます。この祭りでは、豪華に装飾された山車同士がぶつかり合い模擬戦を行います。

#### 根崎梯子虎舞

この非常にアクロバティックな虎舞は、50度の角度に傾けられた高さ20mの梯子の上で舞われます。市の無形民俗文化財に指定されています。

## 気仙沼市

### 七福神舞

かつては男性が神々に豊漁を祈願して踊っていたこの舞は、現在は女性や子供たちによって踊られています。もとの舞の荒々しさは健在です。

### 大漁唄い込み

モーターで動く漁船が登場する前は、海から帰ってくる漁師たちは大漁を知らせるために甲板に櫂を叩きつけながら凱旋の歌を歌いました。現在この歌は神社などで行事の際に歌われています。